
桜並木のヌシ

マ王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜並木の又シ

【Nコード】

N6206L

【作者名】

マ王

【あらすじ】

とある桜並木の伐採計画が持ち上がっていた。

それを阻止しようとする子ども達が立ち上がるが……

とある街の一角に桜並木があった。そこは近くの小学校の通学路でもあり、子ども達にとってはなくてはならない癒しの空間であった。

ところが、突然この桜並木の伐採計画が持ち上がったのだ。住民向けの説明会も開かれたが当然反対の声は多く、それは子ども達も例外ではなかった。

そんな中小学校では、子ども達による極秘のプロジェクトが進行中であった。

「いいか、みんな。ターゲットは説明会に来てた一番偉そうなおじさんだ。やり方はそれぞれに任せる。一泡吹かせてやるっぜ！」

「おー！！！」

そして、数日後の夜のこと。ターゲットの男がいつものように、通勤路である桜並木を一人で歩いてた。

ここ最近是多忙で、この日も深夜になってからの帰宅であった。そんな桜並木に怪しい影が潜む。

「みんないい？ やりすぎはダメだからね」

釘を差したのは小学校の先生であった。

このプロジェクト、発案は子ども達だが大人達も止めるどころかおもしろがってやってしまえと焚きつける者が多かったのである。

結果として、深夜にも関わらず引率の先生付きという条件で、何名かの子ども達が桜並木の下に集まっていた。これから始まるプロ

ジエクトの下準備をして。

「みんな、検討を祈る！ 散開！」

ターゲットの男が近付き、リーダーの号令とともに各員配置に付く。そして……、

「この木を刈ると言うなら、お前の命も刈り取ってやるぞ」

響きわたる不気味な声。それを皮切りに、子ども達が次々と飛び出す。一瞬驚いたターゲットであったが、所詮は子どもの悪戯である。

子ども達のチープな変装を見てすぐに冷静さを取り戻し、やれやれといった表情で再び歩き出した。

だが、桜並木の終点に差し掛かるつかという時、最後の砦が待っていた。

「おつ、あれって先生？ 参加しないみたいなことやってたけどやっぱりやるんだ」

「俺達の仇を取ってくれー！」

「バカ……！ 声が大きい」

子ども達が見守る中、ターゲットに近付く先生。そして……！！

「ぎぎぎゃあああああー！」

「やったー！ 大成功！」

ターゲットは悲鳴を上げ、一目散に逃げていった。子ども達は成功を喜び合った。数分遅れて、先生も輪の中に入った。

「ど、どうなったの？」

「どうなったって、あの人逃げてったじゃん。」

「やったね、先生！ お手柄だよ！」

「遠くて見えなかったけど、先生は何したの？」

「何って……これをしようかと」

そう言って先生が見せたのは、不気味な顔が描かれたお面であった。だが……、

「えー！ 俺達のと大差ないじゃん！ 何でこれで逃げたんだよー」

「ちよ、ちよっと待ってよ！」

突然の先生の大声に静まり返る生徒達。そして……、

「私はさっきまでトイレに行ってたんだよ？ だからあの人を驚かせたのは私じゃないよ」

先生はそう言うが、あれは誰の目から見ても大人の女性であった。だが、先生以外にそんな人はいない。では、あれは誰だったと言うのか？

寒気がするのは春の夜風のせいではないだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6206/>

桜並木のヌシ

2010年10月20日13時54分発行